

視点・論点

12月定例会

12月定例会において、各専門委員会で議論となつたものを各委員長がまとめたものです。

副委員長 坂本 靖男 (さかもと やすお) 今期定例会で付託を受けた議案七件等について審査を行つた。「春日市スポーツセンター条例の一部改正について」は、温水プールの使用料を市民の利用形態に応じ、公平性と受益者負担の観点から設定するものである。審査の過程では、三月定例会に提出された請願、「サークル団体と十分な協議を行う」が焦点となり、請願者の方を参考人として招致し意見を伺つた。その結果、十分な協議がなされていらないなどの反対意見と、他の施設も含め公平であるべき、協議に対しては執行部の努力があり、見られるなどの賛成意見があり採決の結果、賛成四、反対一の賛成多数で可決した。

平成二十一年度春日市一般会計補正予算（第五号）では、生活保護費の増額の理由として、厳しい経済状況や雇用問題等により対象者が増え、増額になつた事を確認した。また、春日中学校防球フェンス増設について、新設より増設のほうが安価であるとの確認を行つた。その他、慎重に審査を行つた結果、全員賛成で可決した。

地域活性化等の一環である、小中学校にデジタルテレビ等を取得するに当たり、参加可能な市内業者で入札を実施した旨を確認、全員賛成で可決した。

委員長 塚本 良治 つかもと よしやさし
当委員会に付託された議案か
件、「請願」一件について審査いた
しました。「春日市税条例の一
部を改正する条例の制定につい
て」は、寄付金税額控除の対象
となる寄付金の範囲を拡充すべ
ものです。「春日市保育所設置
条例の一部を改正する条例の制
定について」では、準備期間を
十分にとり、保護者説明会や、
ならし保育を行うなど保護者に
対して最大限理解を得ていくな
どの説明を受けました。その他
「春日市保育の実施に関する条
例の一部を改正する条例の制定
について」「春日市放課後児童
クラブ設置条例の一部を改正す
る条例の制定について」「福岡県
県後期高齢者医療広域連合を組
織する地方公共団体の数の減少
及び福岡県後期高齢者医療広域
連合規約の変更について」及び
特別会計補正予算についての四
議案は、全て全員賛成で可決
ました。また、「後期高齢者医療
制度の即時廃止の意見書提出を
求める請願について」「(一〇)一
〇年度年金の確保に関する請願
について」の請願一件は、賛成
者がなく不採択となりました。
なお、継続審査となっていた
特別会計決算の四議案について
は、閉会中に審査を行い全員賛
成で認定しました。

委員長 松尾 嘉三
先の定例会で継続審査となつてゐた決算議案は一件。土地取得事業特別会計歳入歳出決算は、土地開発公社との整合性の質疑がなされた。下水道事業会計は、入支出決算は、使用料収入減の原因は大口利用者の節水が影響ではないか、仮称フオレストティ完成時の使用料収入見込み等の質疑がなされた。いずれも全員賛成にて認定した。

本期定期会にて付託された議案は八件であった。第一〇六号議案「財産の交換について」は、開発行為の区域内での道路建築に伴う財産の交換に当たり、市議会の議決が求められたもので、開発計画の段階で交換をする必然性はあつたのか等活発な質疑がなされた。また、土地交換によりナギの木苑の土地形状がかなり賛成との意見や、民間開発なので本市が所有する土地で開発に必要な道路部分を売却した後開発すべき、開発前の評価額と比較して議論すべきとの反対討論もなされた。採決の結果、賛成多数にて同意した。また、「春日市道路及び河川占用料条例の一部を改正する条例の制定について」は賛成多数にて可決し、その他六議案についても全員賛成にて可決、承認、同意した。

委員長 五藤 源寿 ことひさ もとひさひさ
本委員会に付託を受けた「平成二十年度一般会計歳入歳出決算認定」について、議会閉会中に四日間にわたり慎重に審査を行いました。平成二十年度の歳出決算額は、一五五億六八〇三万円となっています。審査の過程での主な意見としては、市営住宅の整備については、建築後の経過年数が三十五年を経過している棟もあることから基金の目標年次・目標額等について計画を作成し安心できる住宅計画を確立すべきではないか。市内小中学校の耐震化についてや市内小中学校の施設整備やコミュニティ・スクールの取り組みなどが学力の向上につながっているのか。古紙等の集団回収については、取り組みの意欲をそがないよう、報償金の交付額を調整する必要があるのではないか。市民スポーツセンター整備のための基金については、もつと積み立てが必要ではないか。図書館運営については、毎年不明となつてている図書の対策についてもつと研究が必要ではないか。春日の森特別緑地保全地区整備事業については、区域への影響が懸念されるならば、民有地についても指導すべきではないかなどの意見が出されました。採決を行った結果、全員賛成で認定することに決定しました。

總務文教委員會

市民厚生委員会

地域建設委員会

決算審査特別委員会